

精神神経科学講座

A 欧 文

A-a

1. S. Kawaguchi, M. Kishikawa, M. Sakae, Y. Nakane: Age-related changes in basal dendrite and dendritic spine of hippocampal pyramidal neurons (CA1) among SAMP1TA/Ngs-quantitative analysis by the rapid Golgi method, *Mechanisms of Ageing and Development*, 83, 11-20 (1995) * ○

A-b

1. Y. Nakane: Childhood-Onset Schizophrenia, *Current Approaches to Psychoses Diagnosis and Management*, 4, 1-5 (1995)
2. K. Takada, T. Tashiro, M. Tsukahara, Y. Nakane: Field Trials of ICD-10 (Chapter V) Multixtial Presentation in Japan, *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 49 (5/6), s311-312 (1995)

A-c

1. Y. Nakane, S. Michitsuji: Results from the Nagasaki Centre, *Mental Illness in General Health Care: An International Study*, Edited by T.B. Üstün and N. Sartorius, J. Wiley & Sons, Chichester, 193-209 (1995)

B 邦 文

B-a

1. 吉武和康、中村仁：中年期にせん妄をもって臨床的に発症した Wilson 病の一例、*九州神経精神医学*、41(1)、54-61 (1995)
2. 今村明、岡崎祐士、藤丸浩輔、福迫貴弘、浜田旭、辻田高宏、松本純隆、中根允文、新川詔夫、気分障害と精神分裂病の世代間伝達の特徴についての検討、*精神医学*、37(12)、1327-130 (1995)
3. 遠藤俊吉、三浦貞則、中根允文ほか：うつ病・うつ状態に対する新しい抗うつ薬 塩酸ミルナシプランの臨床評価—塩酸ミアンセリンを対照薬とした第 III 相臨床試験一、*Clin. Eval*、23、39-64 (1995)
4. 大久保起延、富松眞之、武藤康剛、川口哲、林田雅希、高橋克朗、岡崎祐士、中根允文、脳血管障害の慢性期における臨床症状と脳血流量に対するイブジラストの効果、*老化と疾患*、8(6)、84-94 (1995)
5. 大久保起延、松本博隆、武藤康剛、中根允文：横紋筋融解症による急性腎不全を呈したアルコール依存症の 1 例、*九州神経精神医学*、41(1)、31-37 (1995)
6. 小宮山純、高橋竜哉、松本麻理、長谷川修、中根允文：Marinesco-Sjögren 症候群本邦初報告家系の現況、*神経内科*、43、557-559 (1995)
7. 荒木憲一：雲仙・普賢岳噴火災害による避難住民に対する精神保健活動—精神科医による危機介入—、*精神神経学雑誌*、97(6)、430-444 (1995) ○
8. 畑田けい子、塚原美佐子、菅崎弘之、太田保之、中根允文：在宅痴呆老人の介護者の精神的健康について—痴呆老人と介護者の続柄別による比較—、*九州神経精神医学*、41(1)、45-53 (1995)
9. 伊東勉、高橋克朗、太田保之：インターフェロン投与中に発現した精神身体症状、*臨床精神医学*、24、705-711(1995)
10. 辻村徹、姫野明彦、麻生忠史、林田雅希、陶山寛人、南秀雄、岡崎祐士、中根允文：感情病患者における血小板 5-HT₂受容体、*日本神経精神薬理学雑誌*、15(6)、593 (1995)
11. 麻生忠史、吉本静志、富松眞之、辻村徹、南裕二、角本有子、前村謙司、岡崎祐士、中根允文：胎仔期ストレスを負荷されたラットに対するイミプラミン投与およびハンドリングの影響、*日本神経精神薬理学雑誌*、15(6)、605 (1995)

B-b

1. 菅崎弘之：御調町における痴呆老人の地域ケアについて、*地域医療*、33(2)、46-51 (1995)
2. 中根允文、藤田長太郎：精神科疾患の愁訴と治療 肥満とやせ、*臨床精神医学*、増刊号、240-242 (1995)
3. 中根允文：外傷後ストレス症候群、*日本医師会雑誌*、114(9)、1236-1240 (1995)
4. 田崎美弥子、野地有子、中根允文：WHO の QOL、*診断と治療*、83(12)、2183-2198 (1995)

5. 岡崎祐士：現代の古典 Robert G. Robinson & Brian SzetelaThoma (1981)、精神科診断学、6(3)、349-351(1995)
6. 岡崎祐士：精神分裂病の病前の特徴を「覗く」、熊精協会誌、86、1-9 (1995)
7. 岡崎祐士：精神分裂病の発症予防—高危険者研究から—、精神科治療学、10(4)、361-369 (1995)
8. 岡崎祐士：三次元 MRI 脳画像、臨床精神医学、24(5)、517-525 (1995)
9. 岡崎祐士：シンポジウム 「子どもの精神分裂病—その理解と治療的関与について」 小児期発症の分裂病の診断基準をめぐって、児童青年精神医学とその近接領域、36(2)、130-151 (1995)
10. 藤原妙子、中根允文：双極性感情障害の診断、カレントセラピー、13(6)、38-42 (1995)
11. 高橋克朗：OCD の生物学、精神医学レビュー、14、35-49 (1995)
12. 本山俊一郎、中根允文：「いじめ」について、長崎市医師会報、344、70-728 (1995)
13. 田崎美弥子、中根允文：がん患者の QOL—WHO 評価のありかた—、心身医療、7(9)、1166-1171 (1995)
14. 中根允文、田代孝子：一般診療科受診患者における精神的問題の動向 WHO 国際共同研究の結果から、看護学雑誌、59(8)、756-758 (1995)
15. 中根允文：精神障害に関する国際共同研究、精神神経学雑誌、98(7)、471-527 (1995)
16. 中根允文、廣井脩、堤邦彦、太田保之：災害精神医学、日本社会精神医学会雑誌、4(1)、1-10 (1995)
17. 藤原妙子、岡崎祐士：妊婦に向精神薬を選ぶとき、臨床と薬物治療、14(1)、24-27 (1995)
18. 畑田けい子、太田保之：他科に役立つ精神科の知識、月刊保団連、61-64 (1995)
19. 吉武和康：受診から治療導入へのステップ、長崎県医師会報、596、43-46 (1995)
20. 太田保之、荒木憲一、川崎ナヲミ、中根允文、本田純久、三根真理子：避難住民への長期的な精神保健対策—雲仙・普賢岳噴火災害に対する支援活動の経験から—、精神神経学雑誌、97(12)、1124-1130 (1995)
21. 中根允文、相川勝代：災害と子どもの精神保健：破局的ストレスとこころの問題、Jpn. J. Child Adolesc. Psychiatr., 36(5)、388-404 (1995)
22. 中根允文、大塚俊弘、道辻俊一郎：世界共通に見られる軽度精神障害と能力低下—一般診療科における心理的問題に関する WHO 共同研究の結果より—、JAMA、July、(1995)
23. 高田浩一、中根允文：服薬を続けることの意義、ぜんかれん、339、12-15 (1995)

B-c

1. 中根允文：災害、精神科ハンドブック(1)診断と治療、監修 大原健士郎、234-241星和書店、東京 (1995)
2. 中根允文：書評：「疫学精神医学」(加藤正明 etc.訳)、ブックガイド精神科医のための160冊、87、エクセプタ・メディカ、東京、(1995)
3. 中根允文：書評：「An Introduction to Social Psychiatry、ブックガイド精神科医のための160冊、132、エクセプタ・メディカ、東京、(1995)
4. 岡崎祐士：書評：「ICD-10精神および行動の障害—臨床記述と診断ガイドライン」、15、エクセプタ・メディカ、東京 (1995)
5. 岡崎祐士、大久保博美：無症候性脳梗塞を有する初老期・老年期うつ病、精神科症例集3、躁うつ病I、(木村敏、井上令一編)、236-270、中山書店、東京 (1995)
6. 岡崎祐士：精神分裂病の病前の特徴を「覗く」：遺伝子—神経発達—行動—環境、精神の病理学—多様と凝集—、(新宮一成、北村俊則、島悟編)、143-178、金芳堂、京都、(1995)
7. 岡崎祐士：Psychoses の遺伝学、遺伝医学セミナーテキスト、129-140、遺伝医学セミナー実行委員会、東京、(1995)
8. 中根允文：てんかんの薬物療法、てんかん、(秋元波留夫監修)、90-130、日本文化科学社、東京、(1995)
9. 中根允文：パニック性不安とその治療、先端医学社、東京、(1995)
10. 中根允文、大塚俊弘：災害のもたらす心理社会的影響—予防と危機管理、創造出版社、東京、(1995)
11. 中根允文：精神分裂病の教育と学習、エクセプタ・メディカ、東京 (1995)
12. 中根允文：精神遅滞の精神医学的諸問題、1995、今日の治療指針 (日野原重明・阿部正和監修)、252-253、医学書院、東京、1995
13. 辻村徹、中根允文：精神分裂病治療、向精神薬の上手な使い方 Q&A、2、メディカルレビュー社、29-33 (1995)

B-d

1. 岡崎祐士、原田誠一、福田正人他：分裂病患者を母親にもつ子どもの15年転帰、厚生省精神・神経疾患研究委託費「精神分裂病の病態解析に関する臨床的研究」(主任研究者 内村英幸)、総括報告書、149-154、1995
2. 岡崎祐士、辻田高宏、今村明、藤丸浩輔、林田雅希、野口栄二、浜田旭、富松眞之、福迫貴弘、伊東勉、武藤康剛、秋月誠一、南裕二、中根允文、太田亨、新川詔夫、麻香昭雄、越智誠、大久保博美、大久保起延、Nancy C. Andreasen：双生児法を主とする臨床遺伝学的方法による分裂病成因の研究、厚生省精神・神経疾患研究委託費「精神分裂病の発症及び病態生理に関する基礎的、臨床的研究」(主任研究者 融道男)平成6年度研究報告集、350、1995
3. 岡崎祐士、浜田旭、藤原妙子、中根允文、田川安浩：自閉症多発同胞、行為障害および半同胞を含む一家系を対象

- とする自閉症と行為障害の病態研究、安田生命社会事業団研究助成論文集、30(1)、56-67 (1995)
4. 岡崎祐士、大塚俊弘、林田健太郎：JCM1994年5月版実地試行の結果、厚生科学研究費補助金（精神保健医療研究事業）、「心の健康づくりと精神保健医療対策の評価に関する研究」（主任研究者 大塚俊男）、平成6年度研究報告書、37-52、1995
 5. 麻生忠史、吉本静志、富松眞之、辻村徹、南裕二、角本有子、前村謙司、岡崎祐士、中根允文：妊娠期ラットへのストレス負荷が仔に及ぼす影響—生化学的感情病脆弱性モデルの可能性、精神薬療基金研究年報、26、64-71(1995)
 6. 中根允文：うつ病と精神分裂病—最近の概念と診断基準—、第24回日本医学会総会誌〔II〕469、第24回日本医学会総会、名古屋、1995

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1995	1	2	1	0	4	1	11	23	13	6	53	57

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1995	1	3	1	5	1	1	20	22	27

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1995	0.070	0.500	0.250	0.125

Impact factor一覧

	Impact factor	1教官当りImpact factor	論文当りImpact factor
1995	1.124	0.141	1.124